

団体名	赤穂アートプロジェクト	活動名	地域回遊型のアート展示イベント開催
-----	-------------	-----	-------------------

1 活動の実施内容

① 実施場所（地域） 赤穂御崎	② 実施期間 自 2026 年 11 月 1 日 至 2026 年 11 月 16 日
③ 実施体制 ・団体構成員 15 名 ・一般参加者 100 名 ・ボランティア 5 名 ・ 名 ・ 名 計 120 名	
④ 活動実績（実行委員会や準備作業の活動実施等の主な実施日、内容をご記入ください。） ○2025 年 7 月～8 月 メンバーにて打合せを行い、実施内容、アーティスト等の選定を行った。 ○2025 年 9 月 10 日頃～9 月 25 日 赤穂御崎エリアで開催予定の「赤穂御崎まちなかアート 2025」に向けた事前企画として「ぬいぐるみお泊り会」の募集を開始し、SNS（Instagram・Facebook）を通じて広報を実施した。本企画では、参加者から預かったぬいぐるみが赤穂御崎エリアの工房や観光スポットを巡り、その様子を写真で紹介することで地域の魅力発信を行った。 ○2025 年 9 月下旬～10 月上旬 イベント開催に向けた準備として、参加拠点となる工房・ギャラリー・文化施設との調整、展示内容の確認、参加アーティストとの連携等を実施した。また SNS を活用し、赤穂御崎エリアの工房や地域文化を紹介する情報発信を行った。 ○2025 年 10 月 1 日～10 月 31 日 「赤穂御崎まちなかアート 2025」の開催告知を SNS にて継続的に発信し、イベント概要、参加アーティスト、会場拠点の紹介等を行った。 イベントは赤穂御崎地域の工房・美術館・ギャラリー等を会場とする地域回遊型アートイベントとして企画され、地域の文化・自然・工芸の魅力を来訪者に伝えることを目的としている。 ○2025 年 11 月 1 日～11 月 16 日 赤穂御崎エリアにおいて「赤穂御崎まちなかアート 2025」を開催。 瀬戸内海の景観と地域の文化資源を活かし、工房・ギャラリー・美術館など約 10 拠点を会場として展示やワークショップを実施した。開催期間中は SNS で会場の様子や展示作品、来場者の様子などを発信した。 [参加アーティスト] ①池田 圭 Kei Ikeda https://someteco.thebase.in/ ②郡田 政之 Masayuki Koorida http://koorida.com/ ③徳持 耕一郎 Koichiro Tokumochi https://www.facebook.com/Ironsculpture/?locale=ja_JP ④野村 佳代 Kayo Nomura https://kayo-nomura.com/ ⑤原口 典之 Noriyuki Haraguchi https://enkeikousha.com/a-collection/artists_haraguchi.html ⑥細井 篤 atsushi Hosoi https://www.at-hosoi.com/ ⑦堀井 良助 Ryosuke Horii https://www.instagram.com/ryosukehorii/ ○2026 年 1 月 今回の実施内容に対するメンバー間の振り返りを行った。	

2 活動実施の成果と今後の課題

① 活動実施の成果

本事業では、赤穂御崎エリアに点在する工房・ギャラリー・文化施設等を会場としてアートイベントを開催することで、地域の自然景観や文化資源とアートを結びつけた新たな地域の魅力を発信することができた。瀬戸内海を望む御崎地域の景観とアート作品を組み合わせた展示や企画により、来訪者が地域を歩きながら複数の拠点を巡る回遊型のイベントとして実施することができ、地域内の回遊性向上にも寄与した。

また、SNS（Instagram・Facebook）を活用し、イベントの事前告知、参加アーティストや会場の紹介、開催期間中の様子などを継続的に発信したことで、地域内外に対して赤穂御崎エリアの魅力を広く紹介することができた。これにより、イベントへの関心を高めるとともに、従来の観光客層に加え、アートや文化に関心の高い層への情報発信にもつながった。

さらに、地域の工房や文化施設、アーティストとの連携により、地域の文化的資源を活かした取り組みとして実施できた点も成果の一つである。既に御崎地域で活動しているアーティストや文化拠点と連携することで、地域内外の来訪者に対して赤穂御崎の新たな魅力を発信する機会となった。

加えて、事前企画として実施した「ぬいぐるみお泊り会」などの参加型企画により、SNSを通じた話題づくりと地域の魅力発信を行うことができ、イベントへの関心喚起や情報拡散にも一定の効果があったと考えられる。

本事業を通じて、赤穂御崎地域においてアートを活用した地域資源の活用と魅力発信を行うことができ、地域の文化的価値の発信および観光振興の一助となる取り組みを実施することができた。

② 今後の課題

本事業を通じて、アートを切り口とした地域の魅力発信や来訪促進について一定の成果が得られた一方で、今後の継続的な取り組みに向けたいくつかの課題も見えてきた。

まず、イベントの認知度向上に向けた情報発信の強化が挙げられる。本事業では主に SNS を活用した広報を中心に行ったが、今後は観光施設や地域メディア、観光関連団体等との連携を強化することで、より幅広い層への情報発信を行う必要があると考えられる。

また、回遊型イベントとしての魅力をさらに高めるためには、来訪者が各会場を円滑に巡ることができる案内表示、各拠点間の導線づくりなど、来訪者目線での環境整備を進めていくことが重要である。特に初めて訪れる来訪者にとって分かりやすい案内や情報提供の充実が今後の課題として挙げられる。

さらに、地域住民や地域事業者の参加をより広げていくことも重要である。イベントを地域に根付いた取り組みとして継続していくためには、地域内の多様な主体が関わる仕組みづくりを進めるとともに、地域内での理解や協力体制をさらに深めていく必要がある。

加えて、本事業を単発のイベントとして終わらせるのではなく、御崎地域におけるアートを活かした地域づくりの取り組みとして継続的に発展させていくことも重要である。そのためには、アーティストや文化拠点との連携を継続しながら、地域の魅力を発信する取り組みを積み重ねていくとともに、運営体制や資金面の安定化についても検討していく必要がある。

今後は、今回の取り組みで得られた経験や課題を踏まえながら、赤穂御崎地域の文化・自然・歴史資源とアートを組み合わせた地域づくりの取り組みとして、より多くの人に地域の魅力を伝える活動へと発展させていくことを目指す。

3 実施活動の写真



写真のコメント
イベント会場の展示風景
赤穂御崎エリアの工房・ギャラリーを会場として実施したアート展示の様子。
幸灯工房における池田圭氏の作品展示の様子。ワークショップの開催も行った。



写真のコメント
イベント開催期間中の外の展示の様子。
アマミテラスに細井篤氏の作品を展示することで、地域を散策する人も赤穂御崎の自然景観とアートが調和する空間の中で、地域文化に触れる機会を提供した。



写真のコメント
事前企画「ぬいぐるみお泊り会」の様子。
事前企画として実施した「ぬいぐるみお泊り会」において、ぬいぐるみが赤穂御崎エリアの観光スポットや工房を巡る様子を撮影した写真を SNS にて地域の魅力を発信する企画として実施した。

4 参考資料を自由に添付してください。

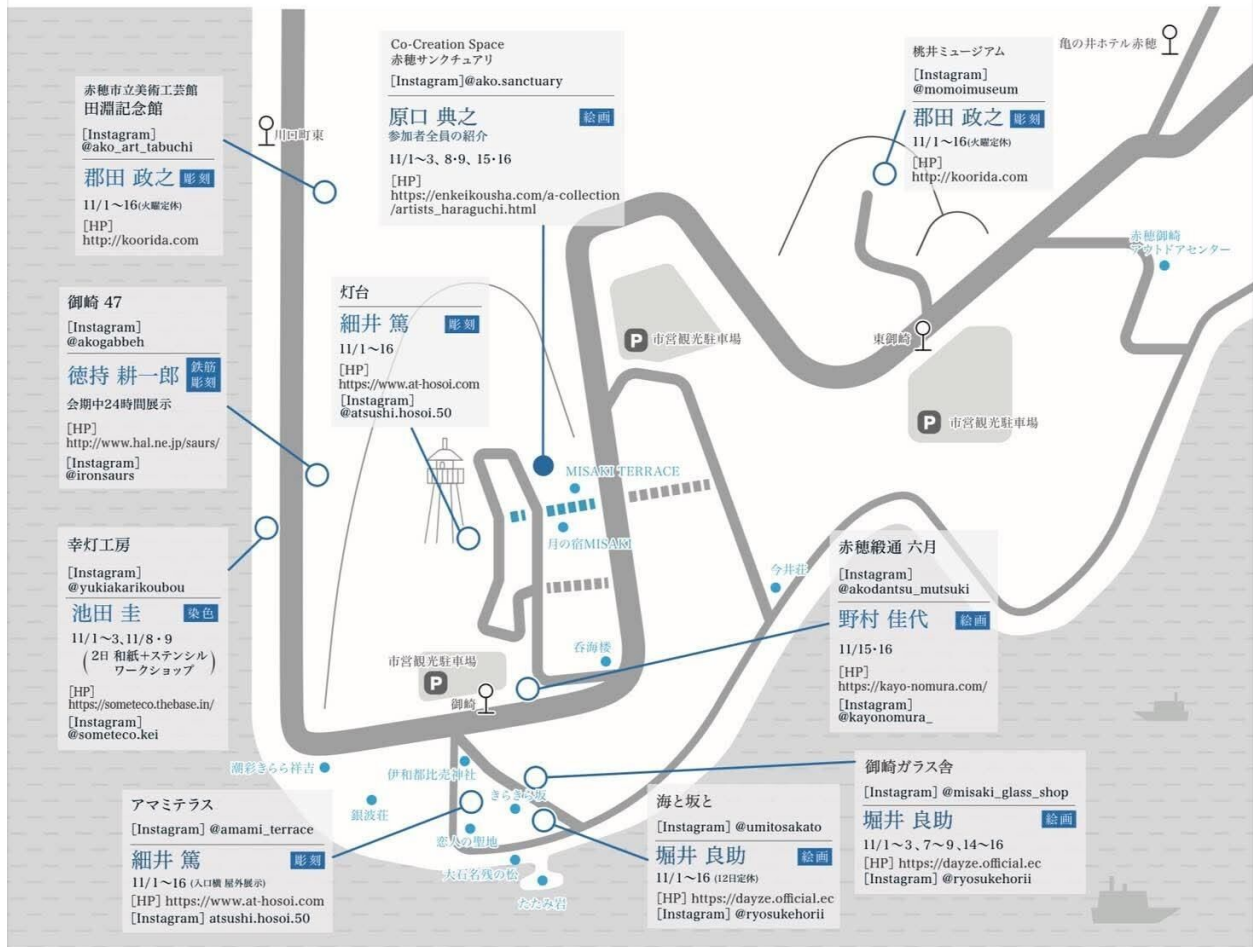
※ 用紙が不足する場合は、欄の大きさを変えるか用紙を追加してください。
(ただし、別紙4全体で、用紙A4サイズで5枚以内としてください。)

参考資料①：イベントチラシ表面



AKO MISAKI MACHINAKA ART 2025

11・1-16



参加拠点 & 参加アーティスト情報一覧 MAP

公開日は各拠点によって違いますので、各拠点のinstagram等をご確認ください。

主催：赤穂アートプロジェクト
後援：赤穂市・赤穂市教育委員会
本イベントは赤穂民間観光イベント等開催補助金活用事業等の支援により運営しています。

お問い合わせ：赤穂アートプロジェクト

Co-Creation Space 赤穂サンクチュアリ(内)
兵庫県赤穂市御崎 165-1

Mail : akoartptj@gmail.com

TEL : 050-3033-5084



AKO_ART_PJT